

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100051
事業所名	グループホームえがおⅡ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板や運営推進会議で地域情報を得ている。散歩時には地域住民と挨拶を交わしている。ボランティアの受け入れを再開し、利用者は以前も来所で馴染みのフダダンス&フォークソングショーや職員や関係者の協力を得ての作品作りや書初め、ドッグセラピー、カラオケの先生による歌レクを楽しんでいる。12月より傾聴ボランティア訪問も導入している。職場体験は声掛けしているが今はまだ実現できていない。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回、今年度は全て対面で開催できた。会議には自治会関係者、家族、利用者、いきいき支援センターの出席があり、運営状況や行事内容、写真で作品作りの様子を伝え事業所の取り組みの理解へと繋げている。意見交換で「1年の振り返り」を実施した際には行事やボランティア再開を喜ぶ利用者の声や看取りや日常ケアへの感謝、歯科の口腔ケアへのコメントが出され職員の理念実践に取り組む姿勢が感じ取れた。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区の窓口へは電話でのやり取りや書類申請や提出時に出向き情報交換し協力体制が構築されている。生保担当者とも連携している。研修へ参加し、研修後は事業者内の勉強会で情報を共有し職員の質の向上に努めている。以前開催していた「えがおカフェ」はいきいき支援センターと協働して再開したいと考えている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 状況を見ながらダイアグノースから現在は居室での面会が可能となっている。家族あてに毎月事業所だより「えがお新聞」を発行し、多くの写真で日常の様子を伝え家族の安心に繋がっている。面会時や電話で様子を伝えながら意見や要望などがあれば聞き取り、その内容を反映できるよう努め信頼関係を深めている。12月より傾聴ボランティアの導入もその1例である。各フロアで開催している行事の家族参加は今後の検討課題としている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			×	×	○	○	○	○	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	×	○	○							

備考欄

--